



## 『お薬手帳について』

---

近年、医療の高度化に伴い、医薬品も複雑化してきています。カタカナでなじみがない名称も多いことや、成分が同じジェネリック医薬品の普及などにより複数種類の薬剤があり、把握するのは容易ではありません。

このような中、医薬品を安全に使用するために、自分の服用薬などを記入するお薬手帳が使われています。薬を調剤してお渡しする時、薬剤師が記録します。併せてアレルギーや、薬等による副作用を記載することで、薬剤の使用について問題ないか確認することもできます。

なお、いくつかの医療機関を受診している方は受診時に、薬の重複や飲み合わせ等についても確認してもらえますので、お薬手帳は、一冊にまとめることが重要です。

普段からお薬手帳を持ち歩くようにしていると、旅行などの出先や災害などの際に具合が悪くなったときにも、自分の服用薬を正確に伝えることができます。また風邪や胃腸炎等で、かかりつけの病院以外で受診することもあると思いますが、そういう時にも便利です。

お薬手帳をうまく活用し、薬と上手に付き合ってください。



鹿児島厚生連病院  
薬剤科長（薬剤師）  
佐多 照正